

## 令和2年度事業計画

1 法人運営事業および地域福祉推進事業	
<p>(1) 法人運営事業          本会は、旭区の地域福祉の推進を目的としたさまざまな事業を実施しています。地域住民の身近な親しみやすい施設として、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、支援拠点としての活動を推進していきます。</p>	
① 会員の拡充	組織構成会員、賛助会員を拡充に努め、地域福祉の推進に向けた事業実施のため安定した財源確保につなげます。
② 広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 広報紙（旭区社会福祉協議会だより「あさひ」）を年4回発行</li> <li>イ ホームページのリニューアルによる充実</li> <li>ウ フェイスブックの実施</li> <li>エ パンフレットの改訂</li> <li>オ しょうぶちゃんマップの改訂</li> </ul>
③ ふれあい広場の開催	高齢者、子ども、障がい者（児）、子育て中の親等を含め、多くの区民が参加し、さまざまな交流を通じて地域福祉に関する情報を共有し、実際に体験しながら地域福祉活動への理解と参画を進める場として開催します。
④ 共同募金運動への協力	共同募金の広報周知、募金案内などに取り組み、地域福祉の財源確保をめざします。
⑤ 車いす貸し出し事業の実施	車いすの短期間貸し出しをします。
<p>(2) 善意銀行の運営          広く区民のみなさんや企業の方などから善意の金銭や物品の預託を募り、地域福祉の向上・推進のため、地域福祉活動支援等に活用します。</p>	
<p>(3) 福祉基金の運営          旭区内の福祉施策の充実に向けて適切な助成や支援に努めます。また、今後支援等が必要と思われる対象についても検討していきます。</p>	
① ボランティア応援資金	ボランティア団体等の運営支援助成金として活用します。
② あさひパーソナルサポート事業	緊急食糧等提供事業など、公的サービスでは対応が難しい支援に活用します。
<p>(4) 地域福祉推進のための事業拡充          地域住民に身近な「地域福祉の中核的な推進役」として事業の推進を図ります。</p>	
① 校下社会福祉協議会への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域福祉活動の状況把握と活動に対する支援や情報提供</li> <li>イ 地域福祉活動にかかわる役員・活動者等を対象した研修会等の開催および支援</li> <li>ウ 広報・啓発</li> </ul>
② 高齢者福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 高齢者の居場所づくりにかかる支援</li> <li>イ 認知症カフェへの活動支援</li> <li>ウ キャラバン・メイト連絡会への活動支援</li> </ul>

③ 障がい者福祉の推進	和んで座談会の活動支援 自立支援協議会、旭こころネットへの参画
④ 児童福祉・子育て支援活動の推進	ア 旭区子育てサロン連絡会の開催 イ あさひ子育て安心ネットワーク会議への活動支援 ウ マタニティカフェへの活動支援 エ 旭区こども食堂ネットワーク会議への活動支援 オ 里親シンポジウムの開催協力
⑤ 調査・研究活動の強化	地域診断をはじめとし、福祉ニーズの調査・研究を行います。
⑥ 研修会等の開催	地域福祉活動者の意欲向上や活動が生きがいにつながることを目的とした研修会を開催します。
⑦ 地域福祉推進のための連絡調整事業の実施	ア 社会福祉施設連絡会の開催 イ 地域課題の整理および関係機関との連絡調整
(5) ボランティア・市民活動の推進・地域福祉推進基金事業	
① ボランティア・市民活動センターの運営	運営委員会を開催し、センター運営について検討していきます。
② ボランティア・市民活動への支援	ボランティア・市民活動への支援をします。 ア 情報提供 イ ボランティア活動の需給調整 ウ ボランティア・市民活動への支援 ・研修会、ボランティア交流会の開催 ・しょうぶ大学の開催、しょうぶ大学OB会への活動支援 ・しょうぶ大学OB会との協働によるボランティア活動支援 ・ボランティア・市民活動センターのオープンスペースの提供
③ 講座の開催	初級手話講習会、ボランティア養成講座を開催します。
④ 広報・啓発活動	ボランティア・市民活動センターだよりの発行 年4回
⑤ 多様な活動者・団体との連携・協働	ア カフェ活動の連携・協働 ・認知症カフェ ・マタニティカフェ ・男のカフェ イ 連絡会の連携・協働 ・子育て支援「あさひの輪」定例会の開催 ・自立支援協議会への参画

⑥ 福祉教育の推進	<p>小中高校生および大学生、地域住民を対象とした講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車いす、アイマスク、高齢者擬似体験</li> <li>・ 認知症サポーター養成講座</li> </ul>
⑦ 区災害ボランティアセンターの設置及び運営について	災害ボランティアセンター運営訓練の実施
<h2>2 介護保険法による事業</h2>	
<p><b>(1) 地域包括支援センター事業</b>  当区では大阪市の公募により3か所の地域包括支援センターが設置され、本会では、旭区圏域（大宮地域、高殿地域、高殿南地域）を受託し、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるよう、できる限り要介護状態を予防するための介護予防サービスを適切に確保するとともに、要介護状態となっても高齢者の状況に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケア」体制を確立することを目的として次のとおり実施します。</p>	
① 総合相談支援業務および権利擁護業務	<p>当圏域の総合相談窓口（旭陽ランチ）との連携を図り、高齢者の心身の健康の維持、生活の安定のために必要な援助、支援を行うことにより、その保健医療の向上、および福祉の増進を包括的に支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域におけるネットワーク構築業務</li> <li>イ 実態把握業務</li> <li>ウ 総合相談業務</li> <li>エ 権利擁護業務</li> <li>オ 地域ケア会議</li> </ul>
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p>地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、ケアマネジャーが主治医や多職種協働を図り、地域の関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを実現するための支援を行います。</p>
③ 家族介護支援事業	<p>介護を要する高齢者を在宅で介護している家族を支援するため、在宅介護に関する情報交換・意見交換を行う機会の提供等を通じて家族介護者の介護負担の軽減および心身のリフレッシュを図り、家族介護者および地域住民に対し、適切な介護知識・技術・各種サービスの利用方法および認知症の理解を深めるとともに、当事者組織の育成・支援を図ります。</p>
④ 介護予防・日常生活支援総合事業 (第1号介護予防支援事業)	<p>要支援者自身の能力を最大限生かしつつ、利用者の状態やニーズに応じて適切なサービスが受けられるよう、介護予防ケアプラン作成にかかる一連の過程を通じて、包括的かつ効果的に実施されるよう援助を行い、事業対象者が要介護・要支援状態となることを予防します。</p>
<p><b>(2) 介護予防事業</b>  65歳以上の方の自立した自分らしい生きがいや自己実現に向けた支援のため、10地域でなにわ元気塾を開催します。受講生へのアンケートを講座の初回と最終回におこない、受講成果をはかります。</p>	
<p><b>(3) 地域密着型通所介護事業・介護予防事業</b>  介護保険制度に基づき、在宅の要介護・要支援高齢者に対し、通所によるサービスを提供し、日常生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的、精神的な介護負担の軽減を図ります。運営委員会は、利用者や家族、地域の要望に応える事業実施ができるよう年2回開催します。</p>	
<p><b>(4) 居宅介護支援事業</b>  介護保険法による要介護・要支援認定を受けた高齢者に対し、効果的なサービス利用のためのケアプランの作成を行います。</p>	

### 3 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### (1) 旭区生活支援体制整備事業

生活支援・介護予防サービスの充実とともに高齢者の社会参加の推進を図ることを目的として、生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握・ネットワーク化や地域資源・サービスの開発など、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けて取り組みます。

① ニーズと地域資源の把握・ネットワーク化	協議体により新たな社会資源の創出に向けて区内の高齢者が抱える課題や生活支援サービス、居場所づくり等について意見交換や共有を行ないます。
	協議体小会議により今後の旭区内の移動（外出）支援サービスを検討します。
② 地域資源・サービス開発	しょうぶ大学OB会と協働し、日常生活の「ちょっとしたお困りごと」に対応できるしくみづくりを行います。
	旭区社会福祉施設連絡会と協働し、定期的にお買い物ツアーを実施するなど、買い物支援に関するしくみづくりを行います。
	高齢者の私的な外出時の付き添いをサポートできるボランティアの養成や支援体制の構築に取り組みます。
③ 活動の場の発掘・開発	小地域活動者向けの研修会や交流会を企画し開催します。
	男のカフェ講座の受講者を中心に、男のカフェ「火の鳥」を定期的に開催します。また地域の会館や社会福祉施設等での出張カフェの定期的な開催をめざし、活動の幅を広げるための啓発に取り組みます。
	コミュニケーション麻雀体験会開催の他、地域で実施されている既存のサロンや社会福祉施設等での活用を図り、新たな居場所づくりをめざします。また、出張麻雀を行える体制づくりに取り組みます。
	野菜作りを通じた地域交流の場づくりに取り組みます。収穫物を地域の食事サービスや社会福祉施設、子ども食堂等に提供することで地域のつながりづくり及び世代間交流のきっかけづくりをめざします。
④ サービス実施情報の提供・周知	新たなネットワーク構築のしくみづくりを検討します。
	あつたか通信の発行（年2回）をとおして、地域での取組み紹介や暮らしに役立つ情報の掲載、講座の案内や報告を行ないます。

#### (2) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

「要援護者名簿にかかる同意確認・名簿の整備、地域団体等への情報提供」「見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応」「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」の3つの機能について一体的に実施することにより、地域で把握した要援護者を適切な支援や見守りにつなぎ、誰もが住み慣れた地域において、自分らしく健康で安心して暮らせることができる社会の実現をめざします。

① 要援護者名簿にかかる同意確認・名簿の整備・訪問	ア 行政による要援護者名簿者の個別郵送による同意確認を行います。
	イ 同意のあった方々の名簿整理および地域団体等への名簿の提供を行い、地域の見守り支援者につなげます。
② 孤立世帯への専門的対応	ア 孤立世帯への戸別訪問を実施し地域の見守りにつなげます。
	イ 個別の福祉課題を検討するケース会議を適宜開催します。
③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見	認知症高齢者等の行方不明時、氏名や身体的特徴等の情報を、関係機関・団体など協力者にメール配信し、早期発見につなげます。

(3) あさひ学び舎事業	<p>学業や進学環境が十分に整わない生活困窮世帯および生活保護受給世帯等の子どもが成長し、再び生活困窮に至るといふ「貧困の連鎖」を断ち切るために中・高校生に対して学習支援、生活指導や開発教育などを行い、高校進学（卒業までのフォローアップを含む）による子どもの自立促進を図ります。</p>
(4) 旭区子育てサービス利用者支援事業	<p>一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子どもおよびその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行います。 健診時や子育てサロン・イベント開催時には、現地に出向き、情報提供や相談支援を行うなど、アウトリーチの取組みを強化します。</p>
(5) あさひ子育て見守り事業	<p>育児の孤立化が進み、増大、深刻化する児童虐待に対して、要保護児童とその家庭を早期に発見することにより事態の深刻化、児童虐待の減少や防止につながるようキッズコーディネーターを配置します。キッズコーディネーターは、重大虐待防止のために要保護児童世帯への家庭訪問、子育て支援相談への対応、要保護児童世帯に対する地域の見守り活動への後方支援などをおこない、子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に努めます。</p>
(6) 生活福祉資金貸付事業	<p>低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう実施します。</p>
(7) 日常生活自立支援（あんしんさぽーと）事業	<p>在宅や社会福祉施設で生活している認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、本人との契約に基づき福祉サービスなどの利用援助、日常的な金銭管理を行い、利用者の生活支援を行います。</p>
(8) 子ども・子育てプラザ	<p>在宅において子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するため、さまざまな情報の提供や講座・イベントの開催、乳幼児とその保護者が自由に遊べる場所の提供等を行います。</p>
① 子育て活動支援事業	<p>次代を担う子どもの健やかな育成と家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育てを行っている家庭や、地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 子育て情報の収集・管理・提供</li> <li>イ 地域の自主的な子育て活動の支援</li> <li>ウ 子育て中の親子の支援</li> <li>エ 児童健全育成事業</li> <li>オ 世代間交流事業</li> </ul>
② 大阪市つどいの広場事業 (大阪市地域子育て支援拠点事業)	<p>主に乳幼児（0～3歳）を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや、ボランティア活動を活用し育児相談などを行う場を身近な地域に設置することにより、子育て中の親子への子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てできる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図ります。</p>
③ ファミリー・サポート・センター事業	<p>会員による子育ての相互援助（子どもを預けたい方と預かることができる方をコーディネート）により、地域で子育てを支え合うサポートをしています。支部業務は区内での会員募集・登録および相互援助活動の調整にかかる事務、本部（大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館内）・近隣支部・関係機関との連絡調整、区内広報活動、会員研修などを行います。</p>

4 その他	
(1) 旭区地域振興会事務局	ア 大阪市地域振興会事務局との連絡調整 イ 旭区地域振興会および各連合町会の町会長名簿の保管 ウ 日本赤十字社大阪府支部との連絡調整 エ 日本赤十字社会費募集の受付業務 オ 市民共済協同組合事務局との連絡調整
(2) 旭地区募金会事務局	ア 大阪府共同募金会との連絡調整 イ 赤い羽根共同募金活動運動の取組み ウ 募金の送金および取次ぎ事務